

札幌市PTA協議会 令和3年度PTA活動調査アンケート結果要点報告

アンケートの目的

新型コロナウイルス感染症によりPTA活動は多くの制約を受けていることと思います。なかなか区P連などでPTA同士が会う事もままならない状況の中、本年度のPTA活動がどうだったかの調査と、PTA活動を見直し必要な活動をどのように工夫しながら行っているかの調査を行いPTAに何が求められているのか、何を変えていかなければいけないのか、のきっかけを見つけるためのアンケートを行いました。

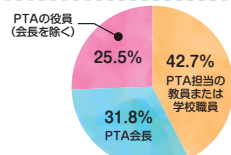
アンケート概要

- 札幌市PTA協議会所属の303単位PTAに対しアンケートを依頼、内158のPTAより返答あり。
- アンケートはGoogleフォームを利用し約1か月間の募集期間とした。令和3年11月1日～30日
- 結果と研究については、令和4年2月の市P協主催の区P連交流会などで意見を交わしたのち、広報紙「PTA さっぽろ」や市P協ホームページなどで皆さんと共有する予定。
- アンケートの集約と要点のまとめは、札幌市PTA協議会役員会にてまとめる。

アンケート結果の要点

アンケート1 回答者についてお伺いします
選択式の回答(157件回答)

- PTA 会長……………50校・園 31.8%
- PTAの役員(会長を除く)……………40校・園 25.5%
- PTA 担当の教員または学校職員……………67校・園 42.7%
- その他……………0校・園

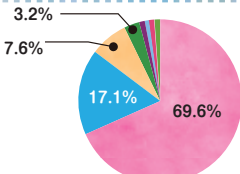


アンケート2

今年度のPTA総会の開催方法について

選択式の回答 回答の多い順(157件回答)

- 1 書面総会……………110校・園 69.6%
- 2 会員が集まって開催……………27校・園 17.1%
- 3 オンライン総会……………12校・園 7.6%
- 4 総会を開催しなかった……………5校・園 3.2%
- ※その他 代理人開催(役員とクラス代表のみ)、放送室から各教室へ発信した等



- リアル開催 会員が集まって開催した
- 書面総会
- オンライン総会(学校・PTAホームページ上などで)
- 総会を開催しなかった
- 代理人開催(役員・クラス代表のみで開催した)
- 放送室から発信し、各教室で保護者が参加
- 12月に開催予定
- 学校ホームページに総会資料を掲載

アンケートの結果より

70%近い校・園が書面での総会を実施しておりますが、本年度は感染対策を行いながらリアル開催のPTAも17%あり対面での総会を選択したところもありました。総会方法もオンラインなど多くの手法で行ったことがうかがえます。記載の意見からは、コロナ終息後も書面での開催、仕事などで参加できない会員の参加ができる書面、オンラインを今後も続けることを検討しているPTAも多いようです。反面、書面総会による総会は意見交換をする場を設けることが難しい事、書面総会の資料作成など苦労したところも多かったようです。

記載された意見より

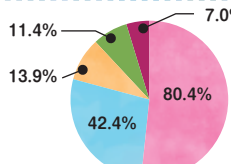
- 今まで書面での決議を行っていませんでしたが、昨年度より取り入れられました。次年度以降、リアルに開催できるようになって書面決議を並行して行うつもりです。
- 昨年はコロナの影響で紙面開催になりました。日時を設定しないので(仕事を休むなど不要)時間のある時に資料を読むだけと言うメリットはありましたが、資料を一方的に配布するだけで意見交換をする場にはならなかったと言うデメリットもあったのかと思います。今年はリアル開催に戻りましたが感染対策を万全にして出来たと思います。総会は、全学年の多数の保護者に参加して貰うのは難しいです。その点を踏まえて下さる方が少ないです。PTA活動に熱意を持って下さる方々だとする事で貴重な意見を聞く場として、可能な限りリアル開催が出来ると良いのではないかと(個人的には)考えます。
- オンラインを活用して総会を行った学校があれば、どのような形で実施したのか、方法を共有できたらうれしいです。
- コロナ以前にリアル開催をしても参加人数が少ない学校のため、コロナ禍中に行った書面開催でも十分ではないかと思っています。総会に参加しないが学年懇談は参加する方も多いためをどうにかできないかと考えています。
- 今の時代、感染への配慮もさることながら、忙しい保護者の方も増え、なかなか集まらないうので、書面開催で行うことを通常とした方がよいのではないかと考えます。
- 書面開催だと承認が後になり、新任役員の仕事スタートが遅れる
- 書面総会では期日を設定する必要があり、PTA活動開始時期が遅れ気味になってしまいました。
- 学校ホームページで総会資料を閲覧できる体制で締め切り期限までに決議書の提出を保護者さんにお願ひしましたが、全世界が決議書を出さずとなりました。総会資料の印刷製本作業で役員が登校する必要がなくペーパーレスで印刷費用もかかりませんでした。
- 今年度は感染対策のため、体育館を会場として行った。PTA総会に來校してくれる保護者が多かった為、総会自体のリアル開催は適切であったと思う。

アンケート3

今年度のPTA役員会の活動について(複数可)

選択式の回答 回答の多い順

- 1 感染対策を行いながらリアルで行っている……………127校・園 80.4%
- 2 SNS等を利用して行っている……………67校・園 42.4%
- 3 メールを利用して行っている……………22校・園 13.9%
- 4 ZOOM等のミーティングツールを利用して行っている……………18校・園 11.4%
- 5 行っていない……………11校・園 7.0%



アンケートの結果より、多くのPTAが感染対策を行いながら役員会を行っていることが伺えます。他のアンケートでは専門委員会を行わないと答えたPTAが50%となっていることを考えると、PTA活動は役員、事務局中心で感染対策のために多くの委員会を減らし、工夫しながら活動していたと推測する。学校の学活等で利用されたZOOM等のミーティングツールの利用が難しいのは、通信や端末の整備状況と利用方法の周知の難しさがあると思われる。

アンケート3

記載式アンケートより:「役員会の開催方法について、リアル開催とその他の方法の使い分けの判断基準や、ご意見やご提案があれば記載願います。」

- 役員会の校内出入りは制限されていないが、極力来校を控える為、日程・人数・滞在時間を事前に伝えている。また、生徒となるべく接触しない時間帯を選んだ。(下校時・昼休み・休み時間などに来校を選じた)
- 役員会については通常通り行った。意見交換や作業しなくてはならない場合はリアル開催をし、報告のみの場合は SNS で行っています。
- 働き方改革により夕方以降の学校使用が出来なくなった為、民間施設を利用した。今年度は基本的にLINE で連絡を取り合いました。リアル開催は「運動会のおと」や「監査のおと」等、もともと別件で役員が顔を合わせる時に時間を調整し、僅かな時間ですら開催しました。
- 判断は学校の基準に従ってあります。グループラインでの役員会となっておりますが、ZOOMなども活用できればとも考えています。
- 学校に足を運んでいただく対面で行う良さもあると思うが、会議システムを利用すると仕事の間に参加することができたり、小さいお子さんがいて外出が大変なご家庭の参加のハードルが下がったりなど、良い点もたくさん見られました。
- 緊急事態宣言中はWEB会議、それ以外でもWEB会議とリアル開催を併用し、密にならないようにしています。WEB会議は各役員が参加しやすいというメリットもありますので今後も併用したい。
- グループLINEは非常に迅速で協議内容の調整に役立っている今後も継続していきたいが、LINEを利用していない方への配慮が必要
- オンライン環境が整わないのでZoomやSNSを使用せずリアル開催している。将来的にはオンライン環境を整えたいが、それにあった指針や環境整備基準を学校単位だけではなく市のほうでもガイドラインをもうけてもらいたい。
- SNSのやり取りだけではどうしてもスムーズな意思疎通や細かい話し合いまでは難しいと感じた。(これまで通りの流れのPTA活動であればそれほど支障はなかったのかもしれないが、コロナ禍でこれまでとは違う流れや話し合いが必要だったことも要因の一つだと思う。)規制緩和後、リアル開催出来る様になりようやく動き出せた感じがある。
- 現在役員会や各委員会もLINEやZOOM、ドロップボックスなど様々なツールを使って行っていますが、学校側としては担当が変わったらそのまま実施できるか自信がありません。ZOOMなどの基本的なことは誰でもできると思いますが、それ以外は難しい部分もあります。その辺りは考えて行かなければならないところかと思えます。
- 顔をみて話すことの重要性を(コミュニケーション等において)感じている。

アンケート4

役員会、委員会の開催場所(リアル)をお教えください。(複数可)

選択式の回答 回答の多い順

- 1 学校を利用した……………143校・園 90.5%
- 2 リアルでの開催は行っていない……………15校・園 9.5%
- 3 その他……………2校・園 1.3%
- 4 地区センターや町内会館を利用した……………1校・園 0.6%
- 5 貸会議室など民間施設を利用した……………1校・園 0.6%

アンケートの結果より

緊急事態宣言やまん延防止措置の期間以外は、学校を利用して活動を行ったことが分かる。学校が利用できない時は活動自体が自粛され、またはの会場確保はあり行われなかったと思われる。

アンケート5

各専門委員会(学級代表委員会・広報委員会・文化委員会等)の活動について(複数可)

選択式の回答 回答の多い順 上位5件 その他1件の記載(25校・園)

- 1 行っていない……………80校・園 50.6%
- 2 感染対策を行いながらリアルで行っている……………59校・園 37.3%
- 3 SNS(ライン、メッセージ等)……………27校・園 17.1%
- 4 メール(グループメール)で行っている……………10校・園 6.3%
- 5 ZOOM等の会議システムを利用している……………7校・園 4.4%

アンケートの結果より

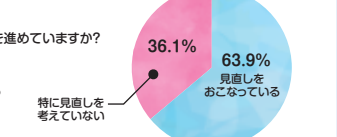
少人数で開催される役員会とは異なり、50%以上のPTAでは専門委員会の活動を自粛したことが伺える。その反面、できる活動をする範囲で工夫しながら委員会活動を行ったPTAも約半数ある。記載式のアンケートからは、専門委員会を活動しないで役員会、事務局、ボランティアがそれに代わり活動していたことが分かる。

アンケート6

PTA活動の見直しを行った。もしくは規約等の改正や改正に向けて準備を進めていますか?

選択式の回答 回答の多い順

- 1 見直しを行っている……………99校・園 63.9%
- 2 特に見直しを考えていない……………56校・園 36.1%



アンケートより

- 60%を超えるPTAが活動の見直しを行っていることが分かります。
- コロナ禍で活動ができなかった経験や元、活動の見直しを行う機会として考え直したPTAが多いことが伺えます。
- 各専門委員会の選出方法や人数の見直し、ボランティアを募り、興味のある活動をやりたいたい人がやることで、イイヤイPTA活動に参加する人いないPTAにしたいと考えています。昨年度から今までの活動で、郊外巡視ボランティア、旗持ボランティア、ヘルマークボランティアは今後も十分継続できると思います。来年度はPTA図書ボランティアも募集予定です。広報紙作成ボランティアも募集予定ですが、コロナ前から人気の広報紙作成作業なので、ボランティアが集まらなければ広報紙作成は行いません。PTAバザーもボランティアを募集して行える良いなと思っています。また、PTA室を役員だけの利用スペースにするのではなく、カフェのように寛げる空間にしようとして現在リメイク中です。コーヒーサーバー等を置き、学校を訪れた保護者や地域の方にもよここと休んでもらえるような場所にしなうかと考えています。各学級の茶話会も気軽に開催していただき、保護者同士の横の繋がりも大切に、誰でも無理せず楽しめるPTAを目指して現在は事務局があれこれ進めているところです。
- PTAの在り方自体を見直しています。児童数1000人を超えるマンモス校なので何らかのアンケートを集約するにも大変な作業に、アンケートや様々なデータをデジタル化し作業効率をUPさせようとして前向きな中で、コストについては、コロナ前のようなやり方だと密を避けることができずこの2年開催出来なかった。運営そのものやり方を見直し、かつ、マンモス校でも子どもたちに楽しんでもらえる何かを出来ないかと模索中です。クラス役員、PTA役員等なかなか立候補者が出ず大変な事も多々あるので役員の方も含めて検討中です。あとは、PTAのイメージを変える為に「**小PTAフレンドリー計画」と題して保護者の方も子どもたちも近寄りやすく接しやすくなるよう、企画実行しています。

新北海道スタイル安心宣言

札幌市PTA協議会は、
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、
「7つの習慣化」に取り組みます。

マスク着用・手指衛生の取組
マスクの着用
小まめな手洗い・手指消毒

人との接触機会減少への取組
人と人の距離(2m程度)の確保

健康管理の徹底
毎日の健康チェックを実施します

咳エチケットや手洗いの呼びかけ
マスクの着用手指消毒のお願い

定期的な換気の実施
換気の悪い密閉空間を作らない

協議会の取組のお知らせ
ホームページなどでお知らせ

定期的な消毒・洗浄の実施
消毒剤の設置定期的な清掃を行います

札幌市PTA協議会

オンライン研修セミナーを終えて

令和3年度のオンライン研修セミナーは、参集とオンラインのハイブリット形式で行われました。ご参加いただきました皆様には「感動しました」「楽しかった」などのご感想をいただき、実りある研修セミナーとなりました。オンライン研修セミナー開催にあたりご尽力いただきました皆様改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。